



カケハシ・プロジェクト(アメリカ) (ジャパン・ボウル招へい) の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」により、2017 年全米ジャパン・ボウルの成績優秀者である高校生 22 名と 2 名の引率者が、2017 年 7 月 19 日～7 月 26 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本の政治、経済、文化、社会及び歴史などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。長崎県では、平和に対する取り組みを学び、またホームステイや学校交流を通して人的交流を深め、東京都では、表敬訪問のほか、秋葉原、浅草、原宿のや折り紙体験など、伝統的文化やポップカルチャー、最先端技術視察まで幅広く日本と触れ合いました。

一行は、プログラム中、日本の清潔さ、便利さ、そして日本人の優しさ等に感銘を受け、各々の関心事項や体験について SNS を通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

米国 24 名(引率者 2 名含)

【訪問地】

東京都、長崎県

2. 日程

- 7 月 19 日 (水) 成田国際空港より入国
- 7 月 20 日 (木) 【オリエンテーション】
【ブリーフィング】外務省北米局
【視察】東京都庁展望室
長崎県へ移動
【ポップカルチャー】長崎県立美術館：スタジオジブリ・レイアウト展
- 7 月 21 日 (金) 【地域産業・企業視察】チョーコー醤油株式会社
【学校交流】長崎県立大村高等学校
【歴史的建造物】大浦天主堂/グラバー園
- 7 月 22 日 (土) 【歴史的建造物】長崎原爆資料館/平和公園
【歴史】被爆体験者講話
【文化体験】大村寿司づくり体験
【ホームステイ】大村市
- 7 月 23 日 (日) 【文化体験】古民家風体験工房のだけ村(竹笛作り/型染め体験)
【ホームステイ歓送会】大村市
【歴史・文化体験】旧楠本正隆屋敷(着付け体験、大村公園・玖島城跡)
東京へ移動
- 7 月 24 日 (月) 【交流】ジャパンプォール・サポーターズグループ (JBSG) 交流会

(茶道・折り紙体験)

【交流】日本学生協会(JNSA) 基金の大学生との交流(秋葉原, 浅草寺視察)

【ワークショップ】

7月25日(火) 【視察】国会議事堂(衆議院)

【ポップカルチャー】原宿

【最先端技術】TEPIA 先端技術館

【表敬訪問】高円宮妃殿下

【交流】ワシントン日米協会・米国大使館共催レセプション

7月26日(水) 【報告会】

【表敬訪問】萩生田内閣官房副長官

成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

	
7/20 【視察】東京都庁展望台(東京都)	7/20【ポップカルチャー】長崎県立美術館 スタジオジブリ・レイアウト展(長崎県)
	
7/21【学校交流】長崎県立大村高等学校 (長崎県大村市)	7/22【歴史】被爆体験者講話(長崎県長崎市)
	
7/22【文化体験】大村寿司づくり体験(長崎県)	7/23【文化体験】古民家風体験工房のだけ村

大村市)	(長崎県大村市)
	
7/23【ホームステイ歓送会】(長崎県大村市)	7/24【交流】ジャパンプール・サポーターズグループ (JBSG) 交流会 (東京都)
	
7/25【表敬訪問】高円宮妃殿下 (東京都)	7/26【表敬訪問】萩生田内閣官房副長官 (東京都)

4. 参加者の感想 (抜粋)

◆ 米国 高校生

被爆者の方の講話によって米国の教科書には書かれていない長崎の原爆についての別の面を知り、その内容に驚かされました。学校交流で訪問した大村高校は想像していたよりずっと大きかったです。ほとんどの米国の高校はひとつの大きな建物ですが、この高校には三つの建物があり、それぞれが渡り廊下などでつながっていました。日本の学校での部活動は米国の学校外活動とは違って驚きました。米国の学生は、大抵週末や休暇を家で過ごしますが、日本の学生は週末も部活動を続けていることを知りました。また日本の政府や議会の建物が米国のもので大変似ていることが興味深かったです。第二次世界大戦後に日本の政治や議会は西洋式を取り入れたということは知っていましたが、議事堂内に実際に立ち、ガイドの説明を聞いていると、繋がりをより一層感じました。以前にもホームステイの経験はあったのですが、大村市での一泊をとて楽しむことができました。私のホストファミリーは農家だったので、そこで育てられている野菜と私の祖母がポーランドの自分の畑で育てている野菜を比べることができました。紫蘇やオクラを見たことはありませんでした。

◆ 米国 高校生

被爆者による講話にはとても心を揺さぶられました。実際に恐ろしい経験をした被爆者の方のお話を聞いて、泣きそうになってしまいました。学校交流では、初めは少し緊張していたのですが、日本の生徒の英語はとても上手で、また礼儀正しく優しくかったので緊張はとけました。

チョーコー醤油(株)視察はとても興味深かったです。今でも醤油醸造に伝統的な手法を使ってい

ることを知りました。ホームステイでの経験は期待をはるかに上回っていました。家族はとても喜んで迎えてくれました。私の日本での会話レベルはまだですが、今後も勉強を続けるつもりです。

◆ 米国 高校生

日本に来るのは初めてだったので、一体何が待ち受けているのかわからない状態でした。日本についての知識はすべてインターネットを通してのものでしたので、今回の来日は今までに見た写真に命が吹き込まれたようでした。醤油工場を訪問し製造過程を学べたことは本当に楽しい経験でした。1ビンの醤油製造に長い時間がかかり、またとても複雑な工程があることは知りませんでした。醤油という製品について改めてその素晴らしさを発見できました。学校交流もとても楽しかったです。日本人の生徒は、初めは少し恥ずかしそうでしたが、とてもフレンドリーで私たちを歓迎してくれました。会ってすぐに打ち解け、大いに笑い、楽しい時間を過ごしました。弓道やオーケストラも素晴らしかったです。国会議事堂(衆議院)の視察は信じられないくらい貴重な経験でした。議事堂内を見学し、日本政府についても学ぶことができました。ホームステイではこれ以上望めないほどの素晴らしいホストファミリーに恵まれました。楽しいご家庭であり、私たちにおいしい料理を作ってくださり、また、彼らの畑でブルーベリー狩りや浴衣着付けまで体験させてくれました。私たちはたくさんの写真を撮り素晴らしい時を過ごしました。最も印象深かったプログラムの一つです。東京では日本人の大学生と一緒に秋葉原や浅草を散策しました。案内してくれた日本人大学生はとても魅力的で素敵な人たちで、私の東京での経験を忘れられない思い出にしてくれました。もっと長い時間一緒にいたかったです。

5. 受入れ側の感想

◆ ホストファミリー

今までに色々な国の人を受け入れてきましたが、これほど日本語が上手な人を受け入れたのは初めてでした。何事にも熱心に取り組む優秀な学生でしたので、彼らの将来がとても楽しみです。また家族と一緒に来てほしいです。

◆ 学校交流担当教員

普段の英語の授業で会話の練習を嫌がる生徒が数名いるが、その生徒たちがみんな会話を楽しんでいる姿を見て、こちらが驚きました。

アメリカ人が考えを日本語で伝えようと努力している姿を見て、生徒たちは大きな刺激を受けたようです。アメリカ研修旅行(2年次12月に実施)へ向けて弾みとなりました。

訪問された皆さんはマナーがよかったです。お菓子を食べてよいかなど、何かをする前にこちらに確認を取ってくれました。おかげで、トラブルは全くありませんでした。

◆ 交流会参加大学生

日本の学生でも知らないような日本文化の知識を持ち合わせており、日本人としてももっと日本の事を知らなければならないと思いました。恥ずかしながら、折り紙を折るセッションでは、遅れてグループに参加した私が折り紙の折り方を高校生から教わっていました。また、世界の中でも難しいとされている日本語を流暢に話す高校生をみて、日本人はなぜ英語学習に億劫になってしまうのか、と疑問に思うとともに自分も英語力を向上しよう、と思い、本当にいい刺激になりました。とても元気で意欲的に日本について学ぼうとする姿勢、そして

私を含めた日本人学生と積極的に交流を図ろうとした姿勢がとてもよかったと思います。

6. 参加者の対外発信

 Instagram post by just_du_it showing three people (two women and one man) wearing traditional Japanese clothing (kimono and yukata) and posing for a photo. The caption mentions taking photos with new and old friends in Nagasaki.	 Facebook post by Dinayra Lyz showing a collage of photos from a homestay experience in Nagasaki. The photos include food, a room, and a group of people. The caption expresses gratitude for the welcoming atmosphere.
(Instagram) 古くからの友だちと新しい友だちと一緒に着物と浴衣を着ました！	(Facebook) 長崎でのホームステイ。 みんな優しく歓迎してくれました。とても素晴らしい時間を過ごすことができました！

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 Action Plan - Website → kakehashijapanbowl.weebly.com - Social media - Video compilation - Presentations → Japanese club, culture festivals, libraries	 Our Action Plan How are we going to do this??? - Through social media and talking about this experience to our classmates and community - Through a "vlog" (video blog) that can communicate our experience through live action film, which can give a more personal and specific idea of what we are trying to get across. Goal: To promote international relations between US and Japan by informing the younger generation
日本についての情報を広め、もっと学生達に KAKEHASHI 事業や留学に興味を持ってもらいたいと考えている。 みんなが自分たちの経験を投稿できる Weebly Blog を開設し、写真やビデオなどを掲載する。 URL: http://kakehashijapanbowl.weebly.com/ また、参加者は、それぞれの学校、日本クラブ、文化祭、コミュニティや地域公共図書館のイベント等でプレゼンテーションを行う。	目標：若い世代の人々に日本での経験を伝えることにより、米日の関係強化を促進する。 - SNS や対話を通して日本で経験したことをクラスメイトや地域の人々へ伝える。 - 動画のブログ「Vlog」を通じて日本での経験を実写映像で発信することにより、個々のより具体的な考えを伝えることができる。 *ビデオは 8/24 までに作成し、YouTube に投稿するとともに KAKEHASHI 2017 Japan Bowl の Facebook (https://www.facebook.com/groups/256539684847261/) を貼り、多くの人が見られるようにする。